

みんなの「なんな一の?」を伝えるこども記者のための新聞



信毎こども記者ニュース

発行/連絡先

こども記者クラブ(信濃毎日新聞) 〒380-8546 長野市南県町657
TEL 026-236-3110 FAX 026-236-3193 電子メール t-chiiki@shinmai.co.jp



no.89

茅野市八ヶ岳総合博物館には、「モバイルプラネタリウム」があります。いろいろな所へ出かけて星空の楽しさを伝えられます。信毎こども記者クラブは10月29日、取材教室「星空案内に挑戦!」を同館で開きました。館長の若宮崇令さん(74)と学芸員の渡辺真由子さん(40)に教わって、モバイルプラネタリウムの番組づくりを体験、星空の世界へ飛び出しました。

星空案内に挑戦

番組作りはとっても大変

私たちは、モバイルプラネタリウムにうつす映像を作りました。これを「番組」といいます。テーマにそって展開を考えて、どう画像をつなげるか。番組を作るためには、星のことは「理科」、作るの「図工」、どういう音楽かは「音楽」、説明は「国語」、秒数の計算は「算数」といったように、いくつもの教科の要素が必要になるので、とても大変です。

取材教室での番組作りは、テーマは決まっていたのですが、こども記者8人で手分けしても約1時間かかりました。仕上げをわたなべさんにしてもらい、やっと上映することができました。上映した時、とても達成感があって、うれしかったです。



児玉彩月記者 飯山市4年



学芸員の渡辺真由子さん



若宮崇令 館長

茅野市八ヶ岳総合博物館
モバイルプラネタリウム



パソコンを使ってプラネタリウムの番組を作るこども記者たち
=茅野市八ヶ岳総合博物館

ドームのテント、おもしろい!

モバイルプラネタリウムとは、もちほこびができるプラネタリウムです。ドームじょうのテントのおもさは14キロで、しょってみたら、とっても、おもかったです。やつがたけそうごうはくぶつかんでは、昨年の6月からつかわれています。見に来られない人のところにももちほこぶことができ、今までに2万4000人がりようしたそうです。

ドームはふくらますと、おもったより大きかったのでビックリしました。中に入ってプラネタリウムを見ていたら、とてもきれいな星が出てきました。さいごにわたしたちが作ったえいぞうもうつしてもらったので、とってもうれしかったです。



小関朱音記者 御代田町2年



モバイルプラネタリウム

もっと宇宙のことが知りたい

モバイルプラネタリウムという言葉、ほくは初めて知りました。これは、空気をめけばリュックに入れて持ち運ぶことができる便利なプラネタリウムです。見た目はテントみただけけれど、中に入ってみると思ったより広くて、おどろきました。ほくも自分で作った番組を上映してもらいましたが、本当に宇宙にいるようでした。

今年の12月13日の夜に、ふたご座流星群が見られるそうなので、ぜったい見のがさないようになりたいです。この教室をきっかけに、春夏秋冬それぞれの星空を観察したくなりました。もっと宇宙のことが知りたくなりました。



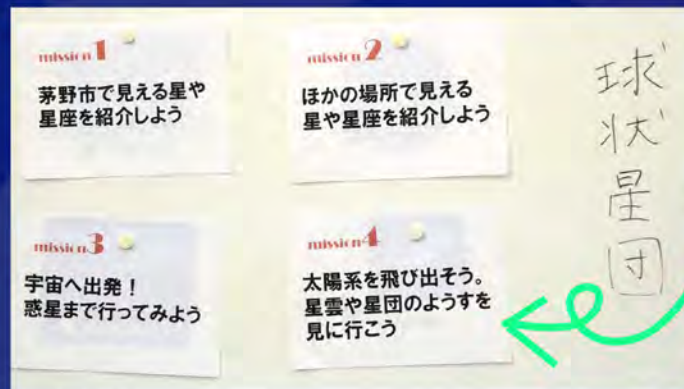
伊野柁哉記者 茅野市5年

できた映像、とてもきれい

プラネタリウムの番組作り挑戦しました。パソコンだから簡単だと思っていたらおどろかかったです。4つのミッションのうち、私と妹の朱音がえらんだのは、「(茅野市とはちがう)他の場所で見える星や星座を紹介しよう」でした。時間を「2018年2月11日22時59分59秒」にしたのは、わたしのたん生誕で、23時になる1秒前がいいと思ったからです。場所は、東京で、決めた理由は、行ったことがあるけど、もう1回行きたいからです。星や星座は、オリオン座と、オリオン座の中にあるベテルギウスと、かに座とふたご座を見つけて、選びました。できた映像をうつしたらとてもきれいで、「成功したな」と思いました。



小関そら記者 御代田町5年



球状星団

番組作りの4つのミッション